

教育のデジタル化・スマート化による 教育の質の向上について

令和2年11月30日
文部科学省



文部科学省

GIGAスクール構想の実現による教育のデジタル化・スマート化

遠隔技術を活用した
大学や海外との連携授業



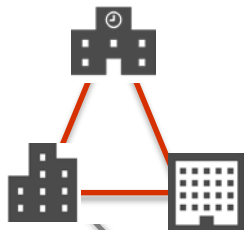
データに基づいた
最適な教材・指導案
(教育コンテンツ)の
検索やレコメンド



病院に入院している子供と
教室をつないだ学び

遠隔技術を活用した
場所に制約を受けない
教員研修や採点業務

校務支援システムを
活用した校務の効率化



校内・教育委員会等
とのデータ即時共有

学びにおける
時間・距離などの
制約を取り払う

個別に最適で
効果的な
学びや支援

目指すべき次世代の学校・教育現場



全ての子供たちの可能性を引き出す、
個別最適な学びと協働的な学びを実現するため、
ICTを基盤とした先端技術を活用

校務の効率化

～学校における事務を
迅速かつ便利、効率的に～

学びの知見の
共有や生成

～教師の経験知と科学的視点の
ベストミックス(EBPMの促進)～

個々の子供の状況を
客観的・継続的に把握
(センシング技術)



意見・回答の
即時共有を通じた
効果的な協働学習



学びの基礎となる
デジタル教科書



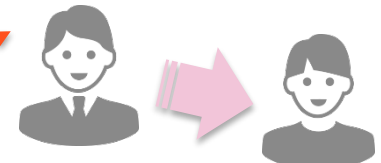
知識・技能の
定着を助ける
個別最適化
(AI)ドリル

不登校児童生徒
への支援の充実



障害のある児童生徒
への支援の充実

ベテラン教師から若手教師への
「経験知」の円滑な引継ぎ



学習履歴、行動等の様々な
ビッグデータ分析による「経験知」
の可視化、新たな知見の生成



個々の子供に応じた
よりきめ細やかな指導

対面指導と遠隔・オンライン教育とのハイブリッド化による指導の充実

- ✓ 学校教育において、**ICTは基盤的なツールとして必要不可欠**なものであり、GIGAスクール構想により、1人1台環境を実現する。その上で、今後、**日常的に活用し、学びの姿を変えていく必要**がある。
- ✓ 一方で、**Society5.0の時代にこそ、様々な場面でリアルな体験を通じて学ぶことが一層重要**。

① 臨時休業時における学びの保障

- 新型コロナウイルス感染症対策としての学校の臨時休業期間中における**特例措置***を、現場の判断により、**他の感染症、災害等に伴う臨時休業時についても適用できるよう恒久化**する。

* 学校が課した家庭学習の成果を学習評価に反映できるとともに、一定の要件のもとで、対面での再指導を不要とすることが可能



② 高等学校における遠隔授業等の充実

- 同時双方向型の遠隔授業の実施について、**単位数*の算定を弾力化し**、教師による対面指導と遠隔授業を融合させたより柔軟な授業方法を可能とする。

* 遠隔授業の単位上限：36単位
(卒業までに修得が必要な単位数：74単位以上)



- 生徒の多様な進路実現に向けた質の高い高等学校教育を実現するため、中山間地域や離島における高等学校を含めたネットワークを構築し、遠隔授業を行う取り組みについて支援を行う。

③ 学習者用デジタル教科書を全国規模で導入促進

- 各教科等の授業時数の2分の1に満たないと**使用の基準の見直し**に係る検討を加速し、**年内を目途に方向性を示す**。
- 一人一台端末の整備に伴い、**学校現場におけるデジタル教科書の使用*が全国規模で着実に進むよう普及促進**を図る。

* 公立小・中・高等学校における
デジタル教科書の普及率：7.9%
(令和2年3月時点)



④ 不登校・病気療養児の学びを保障

- **一人一台の端末を活用し、全ての不登校児童生徒や病気療養児の自宅や病室等における、同時双方向での授業配信や動画を活用した学習を一層円滑に行うことができるよう取り組む**。
- 不登校児童生徒*については、同時双方向型オンライン授業を活用した指導方法について実証を進め、**学校外における学習成果を評価に適切に反映できるようにする**。

* 自宅におけるICT等を活用した学習活動を出席扱いとした不登校児童生徒数：608人（令和元年度）



学習履歴（スタディ・ログ）等を活用した個別最適な学びの充実

- ✓ 「1人1台端末」により、学習履歴（スタディ・ログ）等の教育データを的確に把握・活用し、**個に応じた指導を充実**。
（例：個々の子供の学習計画の作成、データに基づく最適な教材の提供）
- ✓ 教育データ利活用の基盤となる**データ標準化等の取組を加速**。
- ✓ ICTを活用した教育のPDCAサイクルを回すことで、誰一人取り残すことのないよう、個々の状況に応じたきめ細かい指導の充実や学習の改善を図る。

事例：様々なデータを連携して活用する取組（大阪市：児童生徒ボード）

- 教員が気になる児童生徒の状況を多面的に確認することで、状況を迅速に把握し、きめ細かな個別指導ができる。
- 学校全体で問題を早期発見し、迅速な対応を取ることができる。

個々の子供に応じた
よりきめ細かな指導



学習記録データに基づいた、
効果的な問題や興味のありそ
うな学習分野等のレコメンド



個々の子供の状況を
客観的・継続的に把
握（センシング技術）



日常所見・
要学校内共有情報
（家庭等）

心の天気
健康観察情報
出欠情報

児童生徒
基本情報

日常所見・
要学校内共有情報（生活に関する）

日常所見・教務必携・
要学校内共有情報（学習に関する）



学習データ
・デジタルドリル
（小学校）
・章末問題
（中学校）

成績処理の
入力データ
・観点標記
・評定標記